

第19回 神経筋超音波研究会

日時：2026年11月12日（木）17:40～19:40

会場：米子市文化ホール 1 階「メインホール」

ハイブリッド形式
【WEB視聴 事前参加登録制 11/11㊦切】



視聴方法

下記URL もしくは右の二次元コードから登録後、ご視聴頂けます。
事前登録を宜しくお願いいたします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_o9iiHDgiQ8ezW8geUSDtJQ

当番世話人 挨拶

晩秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
この度、「第19回神経筋超音波研究会」の当番世話人を務めます、北播磨総合医療センター 脳神経内科の濱口 浩敏と申します。今年も、大会長の花島 律子先生のご厚意により、第56回日本臨床神経生理学会学術大会のサテライトシンポジウムを開催させていただくこととなりました。

本シンポジウムは回を重ねるごとに内容が充実し、前半の症例検討では毎年新たな知見が報告されています。今回も6演題の発表があり、活発な討論を期待しています。後半では今までにない取り組みとして、基本から応用まで、徳島大学の高松直子先生、山崎 博輝先生から実機を用いたライブデモンストレーション形式の講演をお願いしております。

日頃より神経筋超音波に携わっておられる先生にとってはよい復習の機会になることはもちろん、これから取り組もうと考えておられる方、ご興味のある方にとっては神経筋超音波の有用性、奥深さを体感していただける貴重な機会になると思います。本セッションはどなたでもご参加いただくことができますので、ともに知見を広めていただければ幸いです。

本セッションは学術大会初日の夕刻に開催いたします。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

さらに、学会主催による神経筋超音波のハンズオンも同日午前中に開催されます。多くの皆様と米子の地でお会いできますことを心より楽しみにしております。

北播磨総合医療センター 脳神経内科 濱口 浩敏

- ・講演会場では、軽食をご用意させていただきます。ご所属の院内規定をご確認の上、ご参加ください。
- ・当日は、会則に則り、現地参加される場合、会費として1,000円を徴収させていただきます。
- ・ご登録いただいた個人情報は個人情報保護法、及び当機構プライバシーポリシーを遵守し、厳密に取り扱わせていただきます。

共催：神経筋超音波研究会/エーザイ株式会社

第19回神経筋超音波研究会 プログラム

開会挨拶：天理よろづ相談所病院 神経筋疾患センター・脳神経内科

野寺 裕之 先生

第一部 症例検討

【座 長】

天理よろづ相談所病院 神経筋疾患センター・脳神経内科

野寺 裕之 先生

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳神経内科学分野 関口 兼司 先生

【演題1】

腓腹神経生検前評価における神経超音波の有用性－神経伝導検査および病理所見との比較－

帝京大学医学部 脳神経内科

鈴木 郁 先生

【演題2】

超音波検査により横隔膜のタコツボ様変形を観察し得たALSの1例

国立病院機構 福島病院 研究検査科

早坂 美保 先生

【演題3】

シェーグレン症候群に伴う感覚性ニューロパチーで頸神経根の著明な菲薄化を認めた一例

滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経内科

田中 弘一 先生

【演題4】

ハンセン病のらい反応における神経超音波所見の経時的変化

徳島大学病院 脳神経内科

福本 竜也 先生

【演題5】

筋超音波で捉えた呼吸性共同運動（Breathing arm）の一例

神戸大学医学部附属病院 脳神経内科

杉澤 良介 先生

【演題6】

失神の精査における頸動脈エコー検査で迷走神経への腫瘍浸潤を確認した1例

北播磨総合医療センター 脳神経内科

松野 泰幸 先生

第二部 ライブデモンストレーション

【座 長】

北播磨総合医療センター 濱口 浩敏 先生

『 知っておきたい神経筋エコーの基本手技 』

基礎編 演者：高松 直子 先生

応用編 演者：山崎 博輝 先生

閉会挨拶：北播磨総合医療センター 脳神経内科 濱口 浩敏 先生